

プロジェクト ASAF 対応

項目 2015年3月のASAF会議への対応

**2015年3月のASAF会議で想定される議題**

1. 2015年3月26日、27日にロンドンで開催されるASAF会議における議題は以下のとおり予定されている。

議題	時間
IFRS 第3号「企業結合」適用後レビュー	1時間
概念フレームワーク（測定）	2時間
リース	1時間
開示に関する取組み	
基本財務諸表	1時間
重要性	1時間
収益認識	80分
保険契約	90分
資本の特徴を有する金融商品	90分
共通支配下の企業結合	75分
持分法	1時間
ASAF レビュー	45分
IASBによるプロジェクトの近況報告とASAFの議題	15分

**2015年3月のASAF会議への対応**

2. IFRS 第3号「企業結合」適用後レビューについては、2015年2月のIASB会議における審議を踏まえ、ASAFメンバーによる議論がされる予定である。今回の会議では、2015年2月に開催されたIASB会議における暫定決定を踏まえてIASBスタッフから今後のリサーチ項目（案）について説明がされたうえで、議論される予定であるほか、当委員会から、欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）及びイタリアの基準設定主体（OIC）と共同で公表したディスカッション・ペーパー「のれんはなお償却しなくてよいか—のれんの会計処理及び開示」に寄せられたコメントをまとめたフィードバック・ステートメントについても、説明を行うことも予定している。

本日の企業会計基準委員会では、2015年2月のIASB会議における審議の概要をご紹介しますとともに、当委員会によるASAF会議における発言案について審議を行う（審議事項(2)-2参照）。

3. リースについては、2014年12月のASAF会議以降に行われたIASBによる審議について近況の報告がされる予定である。このうち、2015年2月のIASB会議では、経過措置、少額資産のリース等について審議が行われており、現在、最終基準発行に向けて、残された論点は、投票の許可(permission to ballot)、発効日他のみとなっている。今回のASAF会議では、新リース基準の影響度分析(Effects Analysis)等について議論を行うことが予定されており、本日の企業会計基準委員会では、ASAF会議における発言案について審議を行う(審議事項(2)-3参照)。
4. ASAFレビューについて、ASAFメンバー等から寄せられたフィードバックの要約が紹介されたうえで、これに対するASAFメンバーの見解が求められている。本日の企業会計基準委員会では、ASAF会議における発言案について審議を行う(審議事項(2)-4参照)。
5. 概念フレームワークについては、測定に関する議論が予定されており、当委員会からは、測定に関する2つのペーパー(「測定基礎の識別、記述及び分類」及び「会計基準の設定における『企業の事業活動の性質』の役割」)を提出している。当該ペーパーについては、前回の第306回の企業会計基準委員会において審議を行っており、当委員会より提出したペーパーについては資料配布のみとする。
6. 保険契約については、2015年1月のIASB会議において保険契約基準の初度適用におけるIFRS第9号に関する移行の救済措置について審議が行われており、これについてIASBスタッフから説明がされたうえで、ASAFメンバーによる議論がされる予定である。また、当委員会より、ペーパー(「未稼得利益の表示に関するOCIの使用」)(以下「ASBJ保険ペーパー」という。)を提出しており、ASBJ保険ペーパー及びこれに対するIASBスタッフによる反論がまとめられたペーパーについても、ASAFメンバーによる議論がされる予定である。ASBJ保険ペーパーについては、第305回及び第306回の企業会計基準委員会において審議を行っており、IASBスタッフによる反論ペーパーについては、今後、2015年3月16日に開催予定の保険契約専門委員会において議論を行うことを予定している。
7. 上記の項目のうち、本日審議しなかった主要な項目については、次回の第308回(3月20日に開催予定)の企業会計基準委員会において審議を行う予定である。

以上